

## 平成 28 年度 J A T E セミナーの開催模様

平成 29 年 2 月 6 日（月）、主婦会館プラザエフ（千代田区）において、賛助会員の皆様を対象にセミナーを開催しました。今回は、いわゆる通信機器以外の様々な物がネットに繋がっていく IoT をはじめ電波利用の拡大を受けて、端末、そしてその基準認証や審査の在り様も変化していくであろうことが予想されること、また、当協会自身も本年 4 月から電波法に基づく技術基準適合証明・工事設計認証の業務を開始することから、この分野における行政の要衝にある総務省総合通信基盤局の電波政策課長の田原康生氏及び認証推進室長の林弘郷氏をお招きし、講演を承ることとしました。



総務省 総合通信基盤局  
電波政策課長 田原 康生 氏



総務省 総合通信基盤局  
認証推進室長 林 弘郷 氏

田原康生電波政策課長による講演「端末機器と総務省の電波政策の最新動向について」では、1) モバイルの進化とそのインパクト、2) IoT を支える電波、3) 5G、4) クルマが変わる、5) 2020 年のワイヤレス社会実現に向けての説明がありました。講演後に実施したアンケート結果を集計したところ、

- ・モバイルの進化を踏まえて、今後のトレンドを客観的に理解できた。
- ・2020 年の 5G 完全導入により世の中の通信事業利便性向上に期待が増した。
- ・IoT 関連の電波利用に関する点について方針の情報整理ができた。
- ・日本の状況とスケジュール感、日本が向かうべき方向がよくわかった。
- ・業界の動向と総務省の取組がよくわかった。
- ・5G の実現に向けた取組み等の説明が参考になった。
- ・情通審の最新の動向を知ることができた。
- ・無線 ICT の情報がよくまとめられており、資料の内容も濃く大変良かった。
- ・世界的な動向もよくまとめられており大変参考になった。

との評価が寄せられ、また、個別事項としても、今後の電波の有効利用の動向、IoT の巨大な経済効果の利用シーン別のソリューション事例、5G へのマイルストーン、ITS・自動運転への実現プロセス、1.9GHz 帯への LTE 方式の導入検討等について興味関心が示されていました。

次に、林認証推進室長による講演「IoT が創造する新たな価値と基準認証制度について」では、前半に、ICT 分野で生じつつある IoT、Big Data、AI、5G、Fintech、Sharing Economy 等の具体例

を挙げ、そして客観的な数字と FACT を示しながら、日本及び海外の現状及び今後の動向についての解説があり、我が国の ICT 産業としてはレイヤー1~3 を意識しながらエコシステムを構築していくべきこと、そして成功事例を共有、横展開していくべきとの指摘がありました。この部分に対するアンケート調査では、

- ・IoT、Big Data、AI 等に関する資料がわかりやすく、よく理解できた。
- ・人工知能 AI への対応についての日米での差分、世界と日本の意識比較について参考になった。
- ・(日本の保守的姿勢も含め) IoT の創造性がよくわかった。
- ・IoT により消費者の好みも多様化してきているので、単なる大量生産による効率化ではなく、データを利用したりリアルタイムでサービスを提供するときの生産性向上の方法を考える必要があると感じた。
- ・IoT により業界の境界がなくなりそうな反面、ビジネスチャンスがありそうと感じた。
- ・企業の経営層へのインパクトが大きいと感じた。

との評価が寄せられました。また、後半の認証制度についての講演に対しては、総務省の現在の取組みが理解できたとの感想とともに、法制度変更の影響、技適マークの表示の詳細、今後の変更の方向性等についての興味関心も高いことも見て取れました。

当協会では、賛助会員の皆様から頂戴したこうしたご感想、ご意見を参考にさせていただき、今後のセミナー開催に反映してまいります。

なお、賛助会員の皆様には賛助会員専用ページにて講演資料をご覧いただけます。

(※ 但し、講演資料の一部には、講師の意向により非開示となって部分があります。)